

2022年11月29日
作成者 渡辺洋一郎

レーザーテック（東証プライム・6920）

株価レーティング
A → B+

目標株価
30,000円
(前回 27,500円)

- ◆ フォトマスク等の欠陥検査装置を手掛ける。半導体の微細化が需要を高めよう。
- ◆ 22/7～9期の受注高は大幅減だが計画通りの模様。民生用半導体市場の減速懸念や、米国による中国への半導体関連の投資規制の影響は小さそうだ。
- ◆ 当社は来24/6期も大幅増収・増益を予想しており、躍進が続くと思われる。利益率は大幅に向上するだろう。受注高も高水準を確保しよう。

主要指標

株価(22/11/28)	25,955円
売買単位	100株
発行済株式数	94,286千株
PER(23/6期予)	55.9倍
PBR(22/6期)	32.2倍
ROE(22/6期)	38.9%
配当利回り(23/6期予)	0.5%
52週高値(22/1/4)	36,090円
52週安値(22/10/3)	14,320円

売上高構成比

(22/6期)	
半導体関連装置	84%
その他	2%
サービス	14%

◆ 半導体の微細化が欠陥検査装置の需要を高めよう

半導体製造工程で使用されるフォトマスクやマスクブランクス等の欠陥検査装置を主に手掛ける。半導体の更なる微細化を可能とするEUV（極端紫外線）リソグラフィ関連の投資が活発化している。同社はEUV用のマスクブランクス及びマスク欠陥検査装置をほぼ独占的に供給している模様。CPUなどのロジック半導体は微細化が順次進む見通しであり、微細化に伴いより多くのマスク枚数を必要とするようだ。また、半導体の微細化は検査頻度も高める模様であり、さらに需要を大きくさせていこう。

◆ 受注高は大幅減だが計画通りの模様

22/7～9期は売上高257億円（+182%）、営業利益85億円（+321%）。装置納入は概ね計画通りのようだ。受注高は632億円（▲42%）と大幅減だが、通期計画の受注高3,000億円に対しては21%の進捗であり、EUV関連マスク検査装置を中心に計画通りだった模様。

◆ 民生用半導体市場の減速及び米の中国への投資規制の影響は小さそうだ

今23/6期会社計画は受注高3,000億円（▲7%）、売上高1,400億円（+55%）、営業利益420億円（+29%）。営業利益率が低下するのは、22/6期に計上予定だった原価率が高い新製品の初期ロットの一部が今期にずれ込むため。

当社は8月に予想した受注高3,500億円（+8%）、売上高1,600億円（+77%）、営業利益530億円（+63%）を継続する。受注環境をみると、同社に影響を及ぼすのは最先端である半導体微細化関連の投資であることから、懸念されている民生用半導体市場の減速による影響は小さいだろう。米国による中国への半導体関連の投資規制の影響においても、中国への売上比率が低い模様であり、直接的な影響は小さそうだ。会社計画の為替前提が1ドル115円と保守的なことや、豊富な受注残を背景に、売上も会社計画から上振れが予想される。

◆ 来24/6期も躍進が続くと思われる

来24/6期は売上高2,600億円（+63%）、営業利益1,150億円（+117%）を予想する（前回8月を継続）。22/9期末の豊富な受注残高4,067億円の多くの部分が今・来期中に売上計上されるだろう。EUV関連の付加価値の高い製品が売上の過半を占める見通しであり、利益率は大幅に向上すると思われる。半導体の微細化投資が続くことで、受注高も高水準を確保しよう。

目標株価は来期予想PER約30倍の30,000円。前回8月は約27倍（目標株価は27,500円）で評価したが、株価評価が直近で改善傾向にあることを反映させた。一方、株価上昇により目標株価までの乖離率が前回に対し縮小したため、株価レーティングは「A」→「B+」へ引下げる。

業績推移

単位：百万円、1株利益・配当は円

連結	売上高	営業利益	経常利益	利益	1株利益	1株配当
21/6期	70,248	26,074	26,438	19,250	213.5	75
22/6期	90,378	32,492	33,582	24,850	275.6	97
23/6期予	160,000	53,000	53,000	41,900	464.6	129
24/6期予	260,000	115,000	115,000	90,900	1,008.0	300

予：当社予想

最終ページの重要な注意事項（リスクについて、手数料等の費用について）及び投資判断をよくお読み下さるようお願いいたします。

商号等／水戸証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第181号

加入協会／日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

（審査部審査番号2211097号）

このレポートは投資判断の参考となる情報提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

投資判断

株価レーティングおよび目標株価は当該銘柄の今後6カ月間における投資判断です。「A」は「買い」、「B+」は「やや強気」、「B」は「中立」、「B-」は「やや弱気」、「C」は「売り」、「NR」は株価レーティングをしない場合です。なお本文中の「長期」は2年超5年以内、「中期」は6カ月超2年以内、「短期」は6カ月以内を指しています。

「重要な注意事項」

リスクについて

- ・ 国内外の金融商品取引所に上場されている有価証券（以下「上場有価証券等」といいます。）の売買にあたっては、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動や、投資信託、投資証券、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等の裏付けとなっている株式、債券、投資信託、不動産、商品、カバードワラント等（以下「裏付け資産」といいます。）の価格や評価額の変動に伴い、上場有価証券等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。
- ・ 上場有価証券等の発行者または保証会社等の業務や財産の状況に変化が生じた場合や、裏付け資産の発行者または保証会社等の業務や財産の状況に変化が生じた場合、上場有価証券等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。
- ・ 上場有価証券等のうち、他の種類株式、社債、新株予約権その他の財産に転換される（できる）旨の条件または権利が付されている場合において、当該財産の価格や評価額の変動や、当該財産の発行者の業務や財産の状況の変化に伴い、上場有価証券等の価格が変動することや、転換後の当該財産の価格や評価額が当初購入金額を下回ることによって損失が生じるおそれがあります。
- ・ また、新株予約権、取得請求権が付された上場有価証券等については、これらの権利を行使できる期間に制限がありますのでご注意ください。
- ・ 新規公開株式、新規公開の投資証券についても、上記と同様のリスクがあります。

手数料等の費用について

- I 国内の金融商品取引所に上場されている有価証券等
 - ・ 国内上場有価証券等(転換社債型新株予約権付社債を除く)の売買にあたっては、約定代金に対して最大1.265%（税込）〔手数料金額が2,750円（税込）に満たない場合には、2,750円〕の売買手数料をいただきます。
- II 外国金融商品市場等に上場されている株式等
 - ・ 外国金融商品市場等に上場されている株券等の国内取次ぎ手数料として、海外精算代金（円換算金額）に対して最大1.265%（税込）〔手数料金額が2,750円（税込）に満たない場合には、2,750円〕の売買手数料をいただきます。外国株券等の外国取引にあたっては、外国金融商品市場等における売買手数料および租税公課その他の賦課金が加減されます。当該諸費用は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。また外国株券等の国内店頭取引にあたっては、所定の手数料相当額をご負担いただく場合があります。外国金融商品市場等に上場されている株券等は価格変動および為替の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- III その他
 - ・ 上場有価証券等を募集等により取得する場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。
 - ・ 上場有価証券等を当社との相対取引により購入する場合は、お客さまと当社が協議のうえ決定した手数料をいただきます。

本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的とし、信頼できる各種データに基づき作成したものです。正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見・予測等は、作成時点における弊社判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。水戸証券もしくは水戸証券の役職員が、記載されている証券について、自己売買または委託取引を行うことがあります。水戸証券は、記載されている企業に対して、引き受け等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。なお、投資にあたっては、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、投資信託説明書（交付目論見書）や目論見書補完書面等をよくお読みください。

最終ページの重要な注意事項（リスクについて、手数料等の費用について）及び投資判断をよくお読み下さるようお願いいたします。

商号等／水戸証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第181号

加入協会／日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

（審査部審査番号2211097号）